

努力した分、結果がついてくる



柿沼 彩さん

6月11〜13日に行われた関東高校ライフル射撃選手権大会で、ライフル射撃女子個人エアライフル優勝に輝き、8月にはソウルで行われる日韓学生射撃競技大会への出場が決まっている柿沼彩さんにお話を伺いました。

柿沼さんは、真岡北陵高校に通う3年生で、同校に入学してからライフル射撃を始めました。毎日の厳しい練習とたゆまぬ努力の結果、日本ライフル協会女子ジュニアの部でランキング1位となるなどの活躍を続けています。

ライフル射撃に出会ったきっかけは、同校OBであるお姉さんがライフル射撃部に所属していて、自分もやってみたくて思ったことと、その魅力について「毎日の練習は大変ですが、努力した分、成果・結果がついてくる」とのこと。

関東大会の優勝については、「その前に行われた全国選抜で準優勝という成績を残せていたので、自信を持って臨むことができ、満足いく

今月の輝ける星

結果が残せました。」今後、東日本大会インターハイ、日韓学生射撃競技大会と大きな大会が目白押しですが、「良い準備をして、上位入賞できるように頑張りたい。」と話をしてくれました。

食品科学科に属し地元産食材を使ったみそやジャム、生キャラメルなどを作る実習をしている柿沼さんは、今後の夢について、「お菓子の専門学校に行つて、パティシエになりたい。」と話をしてくれましたが、日本ライフル射撃界の期待も大きい柿沼さんがその夢を実現するのは、もう少し先になるかもしれません。



真剣な表情でエアライフルの練習を行う柿沼さん

かみのかわの郷土食・行事食 7月

天王祭

夏の風物詩に楽しい祇園祭があります。祇園祭は牛頭天王を祭ることから天王祭ともいわれています。天王祭の起源は古く、平安時代の初めにこの信仰が起こったといわれています。当時は田植えの時期はおそく、6月中旬が田植え、7月に入って雑草を取り、収穫まで一段落の頃が天王祭の季節でした。長い梅雨も明け、暑さも厳しく人々は病気にかかり易く、農作物も病害虫におかされやすい時でもあり、神頼み以外に方法のないところから、京都の祇園祭礼にならって始められたと推察されます。

小麦まんじゅう(30個分)

〈材料〉*小麦粉 500g *重曹 15g *ベーキングパウダー 10g
*水 200cc *砂糖 200g *あん 900g(1個30g)

〈作り方〉

- ①.小麦粉に重曹、ベーキングパウダーを合わせてふるっておく。
- ②.ボールに水と砂糖を合わせておき、①の粉を合わせ、ゴムべらでサックリ切るように混ぜる。
- ③.手粉をふった台に②を取り出し、1個35gに分けておく。
- ④.あんを1個30gに丸めておく。
- ⑤.③の生地で④のあんを包む。
- ⑥.⑤を蒸し器に並べ15分くらい蒸すと出来上がり。
※蒸しあがったら、うちわなどで扇ぎ荒熱をとりポリシートで包むときれいに仕上がる。



▼問い合わせ先=郷土食を考える集い実行委員会(産業振興課 農村振興係) ☎(56) 9136)